

令和6年12月16日現在

シラバス

指定番号 292

商号又は名称：株式会社 グローバルマインド

科目番号・科目名	(1)職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について理解する。この指導を通して、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようにする			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスの理解	3	3	0	<講義内容> ・介護の社会化と尊厳の保持 ・キャリアパスと介護職員初任者研修 ・OJT・Off-JT を通じた学習の継続
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3	0	<講義内容> ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容について ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的な様子（イメージ）について（実務経験者である講師の経験話など） <演習実施方法> ・視聴覚補助教材 DVD・Web 動画を鑑賞した後、介護職の仕事内容やイメージについてディスカッションを行う。
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	中央法規「介護職員初任者研修テキスト」 視聴覚補助教材 DVD、テレビ、DVD デッキ、Web 動画、パソコン 等
------------	--

科目番号・科目名	(2)介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防と言う介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点、及びやってはいけない行動例を理解する			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	4	1.5	2.5	<講義内容> ・人間の尊厳の保持 ・人権擁護の基本視点 <通信学習課題の内容> ・人間の尊厳と自立、ノーマライゼーションの意義、個人の尊厳と法制度 ・高齢者虐待、利用者の尊厳の保持
② 自立に向けた介護	3	0.5	2.5	<講義内容> ・介護の基本視点 ・介護予防 <通信学習課題の内容> ・介護サービスの社会的役割、福祉理念と介護サービスの意義、サービス提供の基本視点 ・あるべき主体的な生活、要介護状態の原因疾患について、介護予防とは、介護予防活動の目標、介護予防活動を支える5つの考え方について
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2	0	<講義内容> ・人権基礎 ・人権擁護への取り組み
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	中央法規「介護職員初任者研修テキスト」
------------	---------------------

科目番号・科目名	(3)介護の基本			
指導目標	<p>介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち、重要なものを理解する。 介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事が出来るようになる。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	0.5	1.5	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護にかかわる職種 <p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の理解、地域包括ケアシステムの役割 ・専門職としての介護の視点、チームアプローチの実際 ・利用者を取り巻く多職種連携、多職種連携における役割分担
② 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの公共性と職業倫理 ・利用者、家族に対する責任 ・社会に対する責任 <p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの公共性、介護職員としての倫理の必要性、社会的責任 ・利用者、家族との関係、利用者の自己決定の尊重 ・倫理と規範、規定されている倫理、専門職種と倫理規定、日本介護福祉士会倫理綱領
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	1	1	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における安全の確保 ・事故予防安全対策 ・感染対策のための基本的知識 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントについて、グループディスカッションを行う。 <p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供と安全管理体制、事故の分類と実態 ・リスクマネジメント、事故発生時の対応 ・感染の原因と感染経路、感染源の排除、感染経路の遮断、感染症の治療、スタンダード・プリコーション（標準予防策）、手洗い、手袋、うがい、マスク・エプロン、洗浄と消毒、環境整備、入浴について、隔離について

④ 介護職の安全	1	1	0	<講義内容> ・健康管理とストレスマネジメント ・介護職員の労働の権利と労働法 <演習実施方法> ・腰痛予防動作について、講師の指導もと受講者が実際に体験する。
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	中央法規「介護職員初任者研修テキスト」
------------	---------------------

科目番号・科目名	(4)介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	介護保険制度や障がい者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙出来るようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	0.5	2.5	<講義内容> ・介護保険制度創設の背景、目的および動向 ・介護保険制度の仕組みの基本的理解 ・制度を支える組織、団体の機能と役割・財源 <通信学習課題の内容> ・介護保険制度創設の背景、経緯、介護保険制度施行後の状況、制度の目的等 ・介護保険制度の基本的仕組み、保険給付とその種類、要介護・要支援の認定、利用者負担、地域支援事業等 ・制度を支える組織、団体一全体の姿一、サービス提供事業者、介護支援専門員、介護サービス情報の公表、国民健康保険団体連合会その他の組織、介護保険事業計画、介護保険財政
② 医療との連携とリハビリテーション	3	0.5	2.5	<講義内容> ・医行為と非医行為 ・医療、看護職とのチームケア ・リハビリテーション職種との連携 <通信学習課題の内容> ・医行為と非医行為の範囲、医行為への介護者の対応 ・医療・看護の役割、医療系職種間の連携の理解、看護と介護の連携 ・リハビリテーションの理念と目的、医療の過程
③ 障がい者総合支援制度およびその他制度	3	0.5	2.5	<講義内容> ・障がい者福祉制度の理念 ・障がい者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要 <通信学習課題の内容> ・障がい者の自立と社会参加、法制度の離縁 ・障がい者自立支援法の概要、仕組み ・個人情報保護法、成年後見制度、日常生活自立支援事業
(合計時間数)	9	1.5	7.5	

使用する機器・備品等	中央法規「介護職員初任者研修テキスト」
------------	---------------------

科目番号・科目名	(5)介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	<講義内容> ・介護におけるコミュニケーションの技法 ・利用者、家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況、状態に応じたコミュニケーション技術の実際 <演習実施方法> ・グループ討議を行い、それぞれの立場に立ってコミュニケーションの方法を考える。 <通信学習課題の内容> ・生活場面におけるコミュニケーション、対人援助のコミュニケーション ・利用者の心理とコミュニケーション、家族とのコミュニケーション ・言語・視覚・聴覚障害者とのコミュニケーション、失語症・構音障害者とのコミュニケーション、認知症の人とのコミュニケーション
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	<講義内容> ・チームアプローチとチーム連携 ・観察、記録、情報伝達 ・コミュニケーションをうながす環境 <演習実施方法> ・チーム連携をスムーズに図る為の情報共有の方法をグループワークで行い、発表する。 <通信学習課題の内容> ・チームアプローチとチーム連携、チームアプローチの形態 ・介護職と記録、報告・連絡・相談 ・共感的理解とコミュニケーション、言葉遣いと話し方
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	中央法規「介護職員初任者研修テキスト」
------------	---------------------

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うところとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<講義内容> ・老年期の発達とところの変化 ・老化に伴うからだの変化 <通信学習課題の内容> ・感覚、知覚の変化、注意力の変化と反応の変化、記憶の変化、知能の変化、感情の変化、性格の変化 ・健康とライフサイクル、加齢の生理学
② 高齢者と健康	3	1.5	1.5	<講義内容> ・高齢者に多い病気の基礎知識 ・高齢者に多い病気とその日常生活の留意点 <通信学習課題の内容> ・身体的・精神的機能の変化と病気、日常生活への影響 おもな症状とチェックポイント ・生活習慣病とメタボリックシンドローム、高血圧と糖尿病、循環器の病気、呼吸器の病気、消化器の病気、代謝・内分泌の病気、脳神経系の病気、運動器の病気、アレルギー・膠原病・免疫の病気、血液の病気、腎臓・泌尿器の病気、ところの病気、眼の病気、耳・鼻・喉の病気、皮膚の病気、歯・口腔・顎の病気、感染による病気、介護保険の特定疾病
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	中央法規「介護職員初任者研修テキスト」
------------	---------------------

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	0.5	0.5	<講義内容> ・認知症ケアの理念 <通信学習課題の内容> ・認知症介護の基本原則、最新の認知症ケア
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	0.5	1.5	<講義内容> ・認知症の基礎知識 ・認知症の原因疾患 ・中核症状と行動、心理症状 <通信学習課題の内容> ・認知症とはなにか、もの忘れと認知症の違い、認知症の初期症状、認知症の診察と診断 ・認知症の種類と原因、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、その他の認知症 ・中核症状、行動・心理症状、中核症状の薬物療法、行動・心理症状の薬物療法
③ 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	2	1	1	<講義内容> ・認知症に伴うところとからだの変化 ・認知症の人の対応 <通信学習課題の内容> ・行動・心理症状の具体的対応 ・日常生活支援の基本的対応、環境整備と基本的対応、心理学的援助方法論
④ 家族への支援	1	1	0	<講義内容> ・認知症家族介護者の現状の理解 ・認知症をもつ人の声、そして家族の声
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	中央法規「介護職員初任者研修テキスト」
------------	---------------------

科目番号・科目名	(8)障がいの理解			
指導目標	障がいの概念とICF、障がい者福祉の基本的考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	<講義内容> ・障がいの概念とICF ・障がい者福祉の基本理念 <通信学習課題の内容> ・障がいとは、障がいの構造、障がいの受容 ・ノーマライゼーションとは、リハビリテーションとはインクルージョンとは
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1.5	0.5	1	<講義内容> ・障がいの医学的側面、生活障がい心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (演習実施方法) 白杖歩行の留意点<通信学習課題の内容> ・身体、知的、精神、言語・聴覚、視覚、発達、高次機能、内部などの障がい、難病
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	0.5	0.5	0	<講義内容> ・家族への支援、障がいのある人の家族の負担と支援、障がいの受容の理解
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	中央法規「介護職員初任者研修テキスト」 白杖、アイマスク 等
------------	-----------------------------------

科目番号・科目名	(9)こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようにする。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
ア 基本知識の学習 ① 介護の基本的な考え方	2	1	1	<講義内容> ・介護の基本的な考え方 ・介護が理論的・法的にどのように変遷をたどってきたかについて <通信学習課題の内容> ・介護の基本的な考え方・理論と法的根拠に基づく介護・介護保険制度下の介護サービスを理解する ・介護に関する見方・考え方の変化
ア 基本知識の学習 ② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4	3	1	<講義内容> ・高齢者の心理 ・自己実現と生きがいづくり <演習実施方法> 介護に関するこころのしくみの基礎知識に関するディスカッション・グループワーク <通信学習課題の内容> ・介護に関するこころのしくみの基礎的理解する ・要介護状態の高齢者の心理
ア 基本知識の学習 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	3	1	<講義内容> <通信学習課題の内容> ・人体各部の名称、骨格・関節・筋のはたらき ・身体の動きの基本（基本動作）、ボディメカニクスの原則と介護への活用 ・中枢神経系、抹消神経系 ・脈拍・心拍、血圧、体温、呼吸 <演習実施方法> ・ロールプレイング ・バイタルチェックの実技 <通信学習課題の内容> ・骨や関節など、からだの動きのメカニズムを理解する ・神経の種類と、そのはたらきを理解する ・眼や耳、心臓をはじめとするからだの器官のはたらきを理解する ・ボディメカニクスの基本原理
イ 生活支援技術の講義・演習 ④ 生活と家事	5	3	2	<講義内容> ・家事支援の必要性と目的、信頼関係の構築と秘密保持、利用者に合わせた生活 ・調理、掃除、洗濯、衣類の補修 <演習実施方法> ・生活（家事）支援について事例を上げて、ディスカッションを行う ・シーツ交換の実技演習指導を行う <通信学習課題の内容> ・生活を継続していくための家事の重要性について理解する ・家事援助（調理、洗濯、掃除などの援助）調理におけるおもな留意点

<p>イ 生活支援技術の講義・演習 ⑤ 快適な居住環境整備と介護</p>	5	3	2	<p><講義内容> <ul style="list-style-type: none"> 住居の役割と機能、快適な環境づくりと安全、室内整備と清潔 福祉用具の活用にあたって、福祉用具とその使用方法 <p><演習実施方法> <ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の使用方法などを実際にロールプレイなどを行って習う <p><通信学習課題の内容> <ul style="list-style-type: none"> 安心して快適に生活するために必要な環境の整備とはなにかについて理解する 家庭内での不慮の事故を未然に防ぐ配慮 </p></p></p>
<p>イ 生活支援技術の講義・演習 ⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	6.5	6	0.5	<p><講義内容> <ul style="list-style-type: none"> 整容の意味、整容行動の仕組み 身体の清潔の介護、身だしなみ 口腔ケアの意義、仕組みとはたらき、基本、実際 <p><演習実施方法> <ul style="list-style-type: none"> 整容・衣服の着脱などの実技演習（ロールプレイ）を行う <p><通信学習課題の内容> <ul style="list-style-type: none"> 整容の必要性と、整容に関連したところとからだのしくみを理解する 洗面の介助を行う際の自立に向けた留意点 </p></p></p>
<p>イ 生活支援技術の講義・演習 ⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	7.5	7	0.5	<p><講義内容> <ul style="list-style-type: none"> 体位・姿勢のもつ意味、体位・姿勢介護、褥瘡の予防 移動のもつ意味、移乗の介護 車いす移動のもつ意味、車いす移動の介護 外出のもつ意味、外出の介護、肢体不自由者の歩行介助、視覚障害者の歩行の介助 <p><演習実施方法> <ul style="list-style-type: none"> 車いす移乗・移動、歩行介助などの実技演習（ロールプレイ）を行う <p><通信学習課題の内容> <ul style="list-style-type: none"> 移動・移乗の必要性と、移動・移乗に関するところとからだのしくみを理解する 心身機能の低下が移動・移乗に及ぼす影響について理解する 体位変換の介助を行う際の留意点 </p></p></p>
<p>イ 生活支援技術の講義・演習 ⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	6.5	6	0.5	<p><講義内容> <ul style="list-style-type: none"> 食事のもつ意味、食事の生理的な仕組み <p><演習実施方法> <ul style="list-style-type: none"> 食事介助などの実技演習（ロールプレイ）を行う <p><通信学習課題の内容> <ul style="list-style-type: none"> 食事の必要性と、食事に関連したところとからだのしくみを理解する 心身機能の低下が食事に及ぼす影響について理解する 食事をおいしく食べてもらうための援助視点 食事の動作の5段階 </p></p></p>
<p>イ 生活支援技術の講義・演習 ⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	6.5	6	0.5	<p><講義内容> <ul style="list-style-type: none"> 入浴のもつ意味、清潔保持の意味、清潔保持のための行動の仕組み 入浴介護 <p><演習実施方法> <ul style="list-style-type: none"> 入浴介助についての実技演習（ロールプレイ）を行う <p><通信学習課題の内容> <ul style="list-style-type: none"> 入浴・清潔保持がもたらす心身への効果と、入浴に関連したところとからだのしくみを理解する 心身機能の低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響について理解 </p></p></p>

				<p>する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ち良く入浴してもらう為の援助視点 ・入浴が最も効果の理由
<p>イ 生活支援技術の講義・演習</p> <p>⑩ 排泄に関連したところ とからだのしくみと自立 に向けた介護</p>	6.5	6	0.5	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・排せつの介護のもつ意味、排せつの仕組み ・排せつの介護 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄介助についての実技演習（ロールプレイ）を行う <p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄の必要性と、排泄に関連するところとからだのしくみを理解する ・心身機能の低下が排泄に及ぼす影響について理解する ・排泄に問題が生じたときのところに与える影響
<p>イ 生活支援技術の講義・演習</p> <p>⑪ 睡眠に関連したところ とからだのしくみと自立 に向けた介護</p>	6.5	6	0.5	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の意味、睡眠の仕組み、睡眠の状態と睡眠障害の原因把握、安眠への支援 ・寝具の整え方のもつ意味、寝具の整え方の介護 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーツ交換、体位変換についての実技演習（ロールプレイ）を行う <p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の必要性と、睡眠に関連するところとからだのしくみを理解する ・睡眠服薬時の注意点 ・安眠を支援するために大切な援助の視点
<p>イ 生活支援技術の講義・演習</p> <p>⑫ 死にゆく人に関連した ところとからだのしく みと終末期介護</p>	5	3	2	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・終末期とは、終末期の心身の変化と対応 ・高齢者が死にいたるプロセス ・緩和ケア、家族へのケア <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・終末期ケアについてのディスカッションを行う <p><通信学習課題の内容></p> <p>死にゆく人のところとからだのしくみと終末期介護を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終末期における変化の特徴について ・キューブラー・ロスによる「死を受容するまでのプロセス」
<p>使用する機器・備品等</p>	<p>中央法規「介護職員初任者研修テキスト」 Web 動画、パソコン、ベッド、車いす、ポータブルトイレ、尿器 使用備品（別紙参照）</p>			

科目番号・科目名	(9)13・14 介護過程の基礎的理解・総合演習			
指導目標	・介護過程の目的と意義、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
ウ 生活支援技術演習 ⑬ 介護過程の基礎的理解	4	4	0	<講義内容> ・介護過程の基礎的理解 ・介護過程の展開 <演習実施方法> ・様々事例をもとに事例検討（ディスカッション）を行う
ウ 生活支援技術演習 ⑭ 総合生活支援技術演習	6	6	0	<講義内容（演習実施方法）> ・グループワークにて、テキストの事例で、情報収集～アセスメント～介護計画書まで作成する ・作成後、各グループに発表、評価を行う
(合計時間数)	75	63	12	

使用する機器・備品等	中央法規「介護職員初任者研修テキスト」
------------	---------------------

科目番号・科目名	(10)振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	3	3		<講義内容> ・学習到達度チェック <演習実施方法> ・介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか?の具体的なイメージについてグループディスカッションを行う。
② 就業への備えと研修修了後における実例	1	1		<講義内容> ・介護人材の将来見通し、国の取組み、キャリアパスの全体像 ・キャリア段位制度の仕組み、介護技術評価基準 ・専門職としての心構え、事業所等におけるOJT、継続した学習の必要性 <演習実施方法> ・講師がこれまでの介護関連の職歴を基に、介護の業務に従事した体験談を話し、適宜、質疑応答を行う。
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	中央法規「介護職員初任者研修テキスト」
------------	---------------------